

KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

耐外光パネルスクリーン

[SPB-UT] 超短焦点プロジェクター専用（床置き投射専用）

[SPB-B7] 中/長焦点プロジェクター専用（超短焦点/短焦点プロジェクター非対応）

取り扱い及び設置説明書



お客様へ

このたびは、キクチプロジェクションスクリーンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- お使いいただく前に「取り扱い及び設置説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取り扱い及び設置説明書」は、お使いいただく方がいつでも見られるところに大切に保管してください

工事店様へ

- 設置工事が終わりましたら、この「取り扱い及び設置説明書」は必ずお客様へお渡しください。

目次

安全上のご注意	2
寸法図・各部名称・梱包内容物	3
組み立て方法	4～9
設置方法	10～11

安全上のご注意

必ずお守りください

本スクリーンをお使いいただく方への危害と財産への損害を未然に防止し、正しく安全にお使いいただくために重要な内容を下記に表示し説明しています。本文をお読みになり内容をよくご確認いただいた上で、記載事項をお守りください。記載事項をお守りいただけないことにより生じた損害や、天災などによる損害について当社は一切責任を負いかねます。

■表示内容と異なる誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

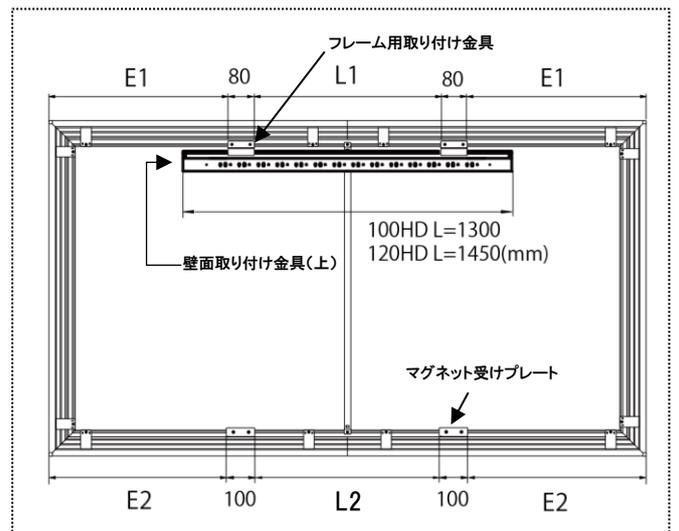
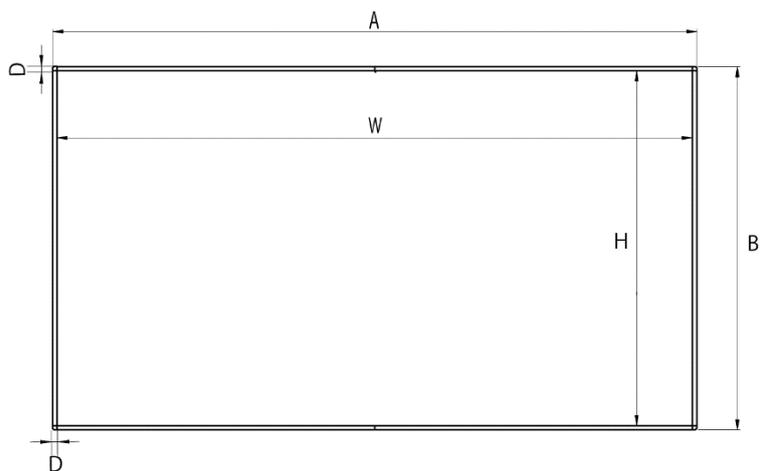
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容を以下の区分で説明しています。

	してはいけない「禁止」を示します。
	「必ず実施していただくこと」を示します。

 実施	<ul style="list-style-type: none"> ●組み立て設置は、必ず二人以上でおこなってください。 ●作業を行う前に、取り扱い及び設置説明書を必ずご確認ください。 ●スクリーン生地はキズ・汚れがつきやすいので必ず付属の養生シートをご使用いただき、シート上で作業をおこなってください。生地に触れる作業は必ず付属の手袋をお使いください。 ●設置を行う際は周囲の安全をご確認いただいた上で、作業をおこなってください。 ●直射日光の当たる場所、ほこりや湿気の多い場所や熱器具のそばなどでの使用は、スクリーンの変形や事故の原因となりますのでおやめください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●スクリーン面に手をふれないでください。表面は特殊な加工が施してあり、キズや汚れがつくと映写効果を損なう恐れがございます。 ●（SPB-UT）スクリーン面を清掃する際は必ず、水平方向に拭き取りをしてください。それ以外の方向の動きはスクリーンの表面を傷つけますのでおやめください。 ●スクリーン面を清掃するときは、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用しないでください。スクリーン面のほこりはやわらかいブラシで払い取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をつけたやわらかい布で軽く拭き取りしてください。洗剤や水気が残らない様、水のついた布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き上げてください。掃除の跡がムラとして残る場合があります。表面の状態を見ながら注意して作業してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●SPB-UT は超短焦点プロジェクター専用（床置き投射専用）です。 上記プロジェクター以外での映像投射では製品本来の性能を発揮できません。 ●SPB-B7 は超短焦点/短焦点プロジェクターでの投影には適しません。 上記プロジェクターでの映像投射では製品本来の性能を発揮できません。 ●本スクリーンは、屋内での使用を想定して設計しております。屋外など天候の影響を受ける場所では、想定外の破損や故障が発生する可能性がありますので必ず屋内に設置してください。 ●本スクリーンに鋭利な刃物や、尖った金属などを触れさせたり、近づけたりしないでください。スクリーンの破損や故障の原因となります。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●設置完了後、スクリーンに過度な重量をかけないでください。転倒、落下など怪我の原因、ならびに破損や故障の原因となります。 ●熱源や火気を近づけないでください。火災発生の原因となります。

寸法図・各部名称



スクリーンサイズ：HD(16：9) 100インチ / 120インチ

【単位：mm】

型番	スクリーンサイズ		外形寸法			受け金具間隔				マスク巾	重量(kg)
	W	H	A	B	C	L1	L2	E1	E2	D	
SPB-100HD	2214	1245	2244	1275	41	942	922	571	561	15	-
SPB-120HD	2656	1494	2686	1524	41	1092	1072	717	707	15	-

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。※2機種ともサイズ共通

※重量（スクリーンフレーム重量は取り付け金具、ナットビス類含む）

100HD スクリーンフレーム(本体/共通) 12.8 kg, SPB-UT 生地 1.1kg 合計 13.9kg SPB-B7 生地 1.0kg 合計 13.8kg

120HD スクリーンフレーム(本体/共通) 15.5 kg, SPB-UT 生地 1.6kg 合計 17.1kg SPB-B7 生地 1.4kg 合計 16.9kg

梱包内容物

品名	入数	品名	入数
スクリーン生地	1	マスクフレーム横（短）	4
養生シート（100HD、120HD）	1	マスクフレーム縦（長）	2
スクリーン横フレーム（短）	4	マスクフレーム固定用プレート	12
スクリーン縦フレーム（長）	2	同上用固定ネジ（M5×8mm銀）	12
コーナーパーツ（プラスチック）	4	センター補強パイプ	1
コーナー金具（金属）※	4	同上用固定ネジ（M5×8mm銀）	2
同上用固定ネジ（M5×8mm銀）	4	（設置用）マグネット受けプレート	2
壁面取り付け金具（上）	1	同上用固定皿ネジ（M5×8mm銀）	4
同上用固定タッピングビス（M5×50mm）	6	（設置用）フレーム用取り付け金具	2
壁面取り付け金具（マグネット（下））	2	同上用固定ネジ（M5×8mm銀）	4
同上用固定タッピングビス（M5×50mm）	2	取り扱い及び設置説明書	1
スクリーン横フレーム連結固定用ネジ（M5×10mm黒）	4	作業用手袋（双）	2
		予備ネジ袋	1
		（M5×8mmネジ×2、M5×10mmネジ×1、スライドホック×2、コーナー用ホック×1）	

※コーナー金具（金属）はあらかじめスクリーン縦フレーム（長）に取り付けられています。

※各ネジ類は多めに予備が入っている場合があります。

組み立て方法

1. フレームの組み立て

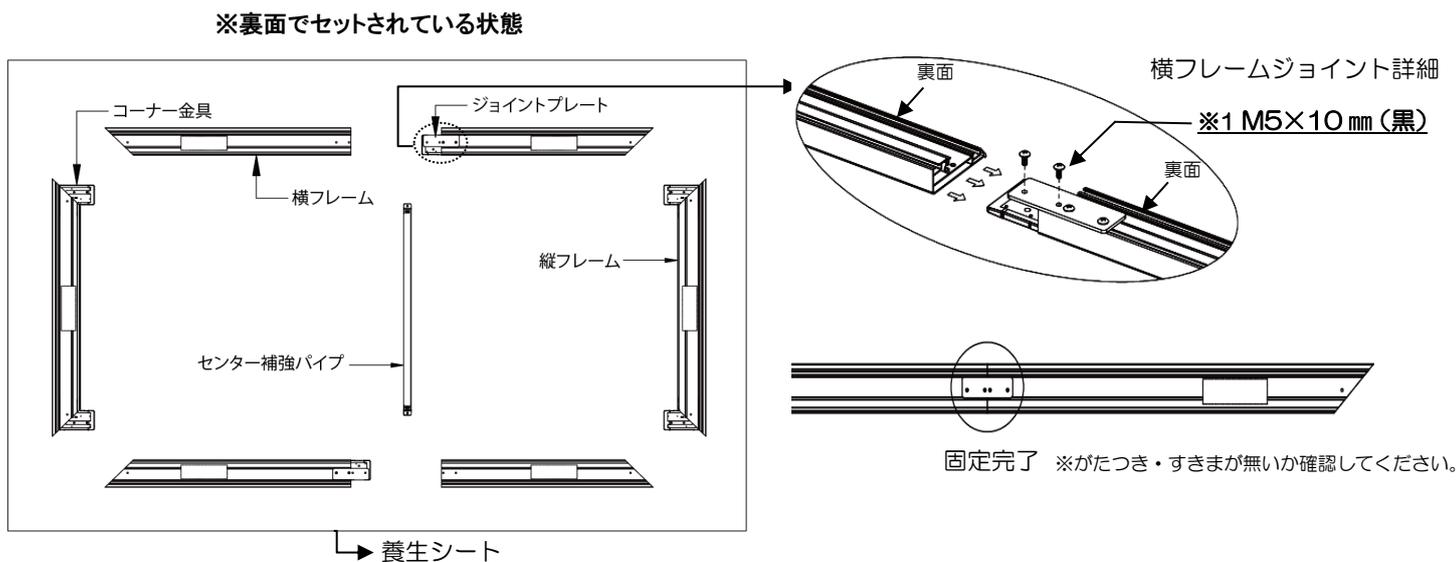
❗ 実施 ⚠ 警告 ⚠ 注意 🚫 禁止

使用部材 ・スクリーン横フレーム(短)×4・スクリーン縦フレーム(長)×2 ・センター補強パイプ×1・養生シート	
❗ 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンを組み立てる際は、必ず養生シートをご使用ください。 ・フレーム固定ネジは必ずしっかりと締めてください。 ・ジョイントするフレームは“TOP”と“BOTTOM”と表記されたフレーム同士で連結させてください。 ・センター補強パイプを固定する際はスクリーンフレームのセンターに来るように取り付けしてください。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立ての際、フレームなどの部材で指を挟まないよう、ご注意ください。 ・フレームを差し込む際は高く持ち上げすぎると入りづらいことがあります。 ・横フレームには上下がありますので、正しく並べてください。 ・必要に応じて手袋を着用してください。 ・組み立て後、各フレームにがたつき・すきまが無いか確認してください。

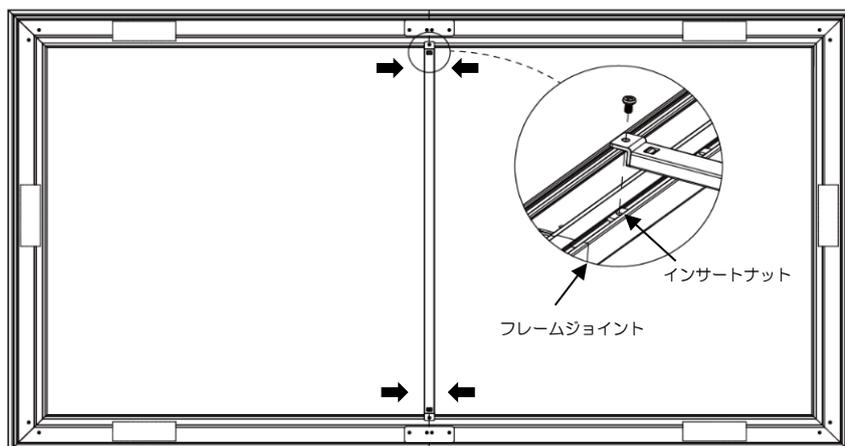
- ① 養生シートを床に敷き、それぞれ横フレーム、縦フレームを裏面が見える状態でシートの上に並べてください。
- ② 分割されている横フレームをジョイントします。
仮止めされているジョイントプレートのネジを軽く緩め、もう一方のフレームを差し込んでからネジで固定します。

※1 (M5×10 mm(黒)ネジを使用してください。M5×8 mm(銀)ネジでは横フレームは固定できません)

- ③ あらかじめコーナー金具が取り付けされている縦フレームを横フレームに差し込みしていきます。
- ④ 差し込みが完了したら、コーナー部分をネジで各フレームを固定します **(M5×8 mm銀)**



- ⑤ センター補強パイプをフレームジョイント近くのインサートナットにネジで仮止めし、手で軽くたたくなどしておおよそセンター位置までずらしてから固定します。(M5×8 mm銀)

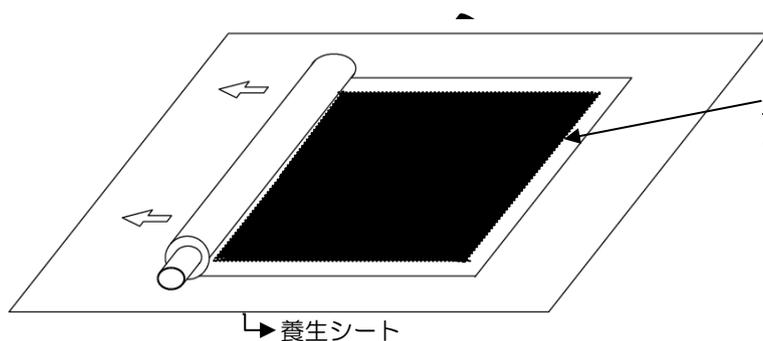


上記作業が終わりましたらスクリーンフレームを養生シートからよけて生地を広げます。

手袋を着用の上、両側を持って巻き芯を転がして、位置を調整しながらゆっくり生地を広げてください。

生地の裏面が上に来るように広げてください。裏面にはそれぞれ下記のラベルが貼り付けされています。

SPB-UT の場合

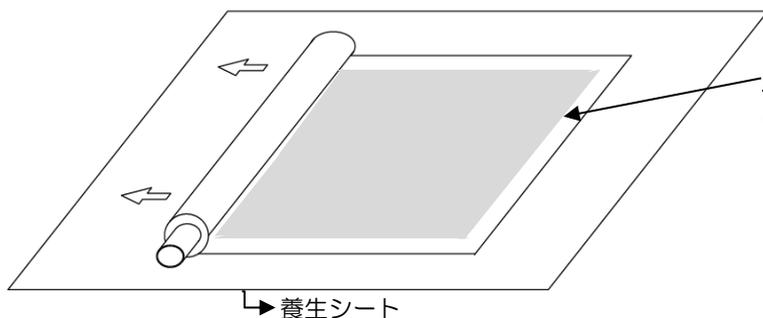


スクリーン裏面が見えている状態（黒色）

“TOP”“BOTTOM”などのラベルが貼り付けしてあります。

養生シート

SPB-B7 の場合



スクリーン裏面が見えている状態（灰色）

“This is The Back Side~”のラベルが貼り付けしてあります。

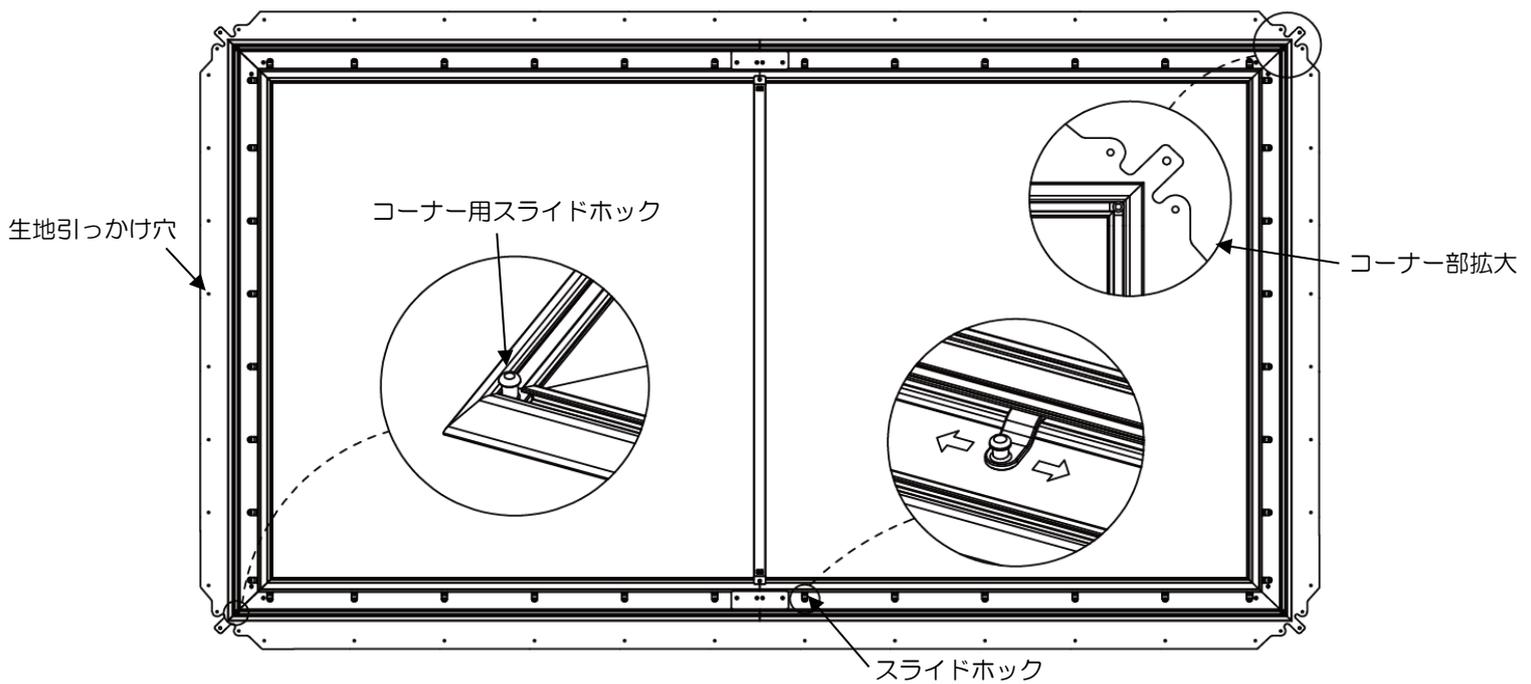


生地の向きはラベルが正しく読める方向を確認してセッティングしてください

2. 生地 of 張りこみ

使用部材 ・スクリーン生地 ・手袋	
❗ 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・(UT) スクリーン生地とフレームにはそれぞれ “TOP” “BOTTOM” のラベルが貼ってあります。設置する際に、上側が “TOP” 下側が “BOTTOM” となりますので方向を必ずご確認ください。 ・(B7) ラベルが正しく読める方向を確認してセッティングしてください。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン生地は付属の作業用手袋をご使用の上、お取り扱いください。 ・張り込む際は爪を立てた状態で生地を引っ張らないでください。生地が裂ける恐れがあります。 ・生地に折り目がついてしまうと映写性能を損なう原因となります。取り扱いにはご注意ください。

- 養生シートに広げた生地の上に組み立てたフレームを上下左右均等の幅になるよう置きます。
(上記実施項目を必ずご確認ください)
- フレームの溝のスライドホックを生地の引っ掛け穴付近にそれぞれ移動させます。
※スライドホックはフレームにあらかじめテープで仮止めされています。
コーナー用スライドホックはフレーム外側の溝に 4 個ありますので各コーナーまで移動させてください。

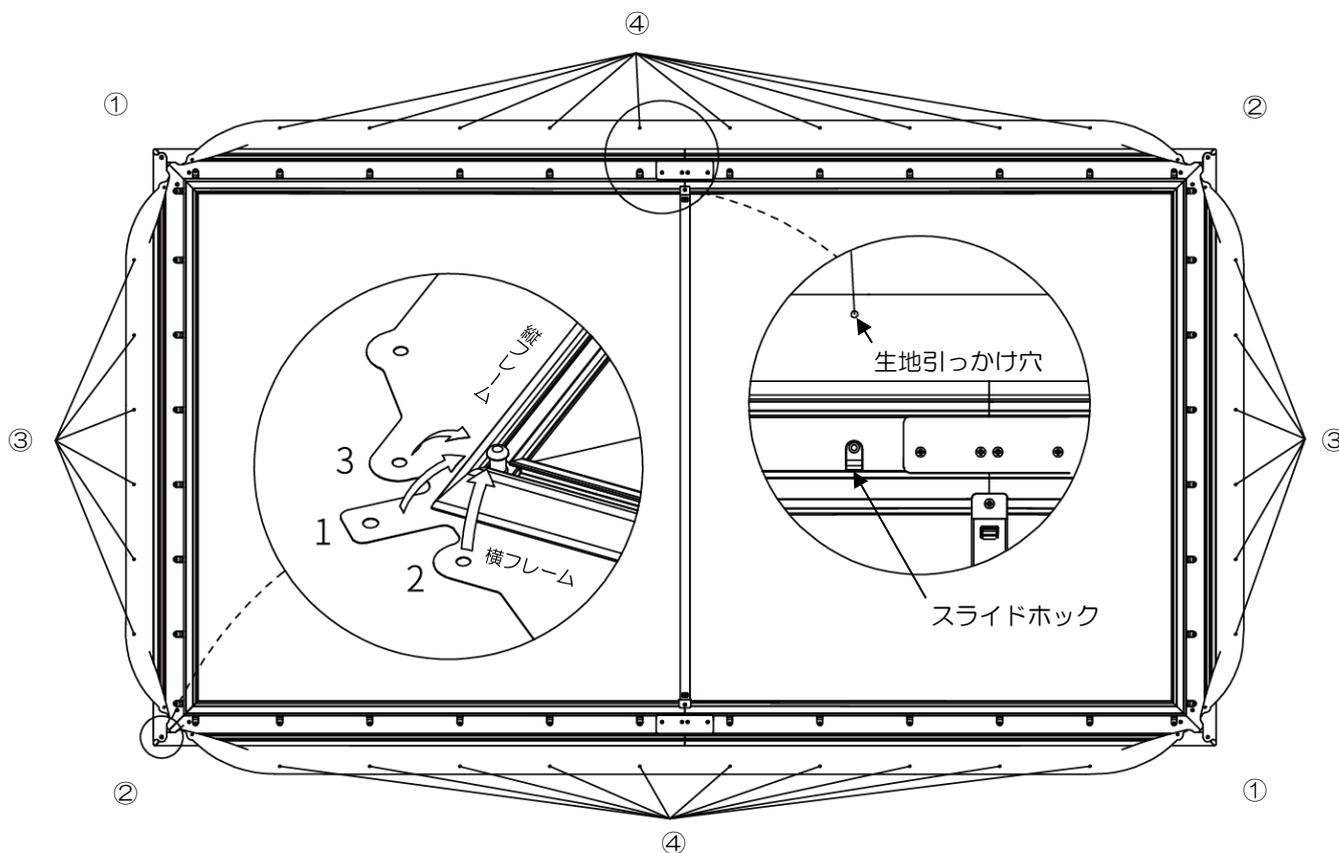


ホック数量 (共通)

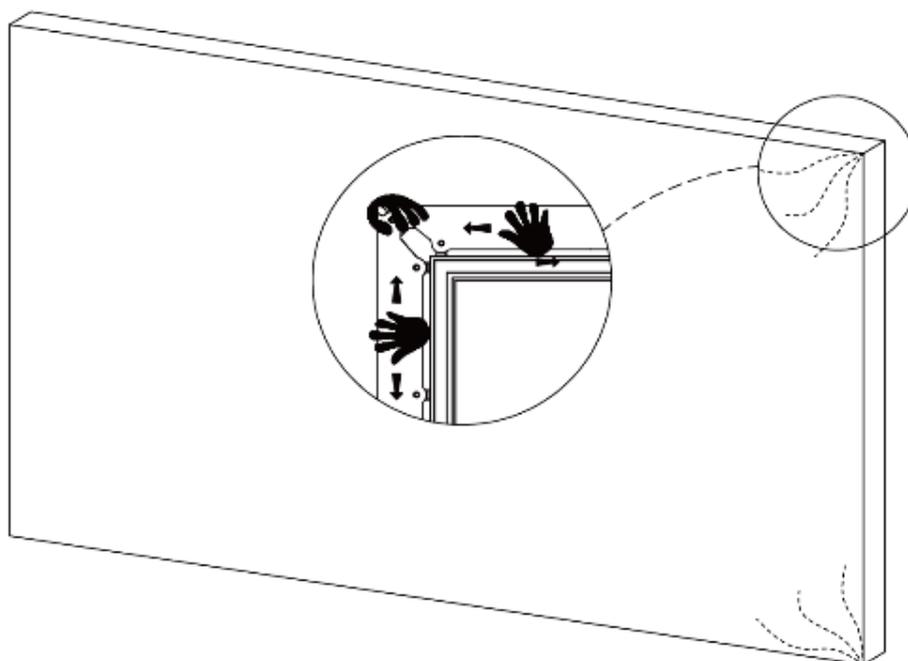
SPB-100HD/ コーナー4 個 / 横フレーム24 個 / 縦フレーム16 個

SPB-120HD/ コーナー4 個 / 横フレーム32 個 / 縦フレーム18 個

- ③ コーナー⇒縦⇒横方向で生地をホックに引っ掛け①～④の順番で生地を張り込んでいきます。
- ①～②は対角上で均等に生地を引きながら下記イラスト（1～3）の順番通りにコーナー用スライドホックに引っかけます。各コーナーは生地が3枚重なる状態で張り込まれます。
- ③～④はスライドホックに生地を引っかける際は、真ん中から外側に向かって順番に引っかけていきます。



- ④ 張り込みが完了したら一度その場で立てて表面にシワがない事を確認してください。コーナー付近にシワが出る場合はもう一度フレームを置き、フレームの裏側（生地の折り返し部分）から中央からコーナーへ向けて生地をなでるようにシワを伸ばしてください。



3. マスクフレームの差し込み

使用部材

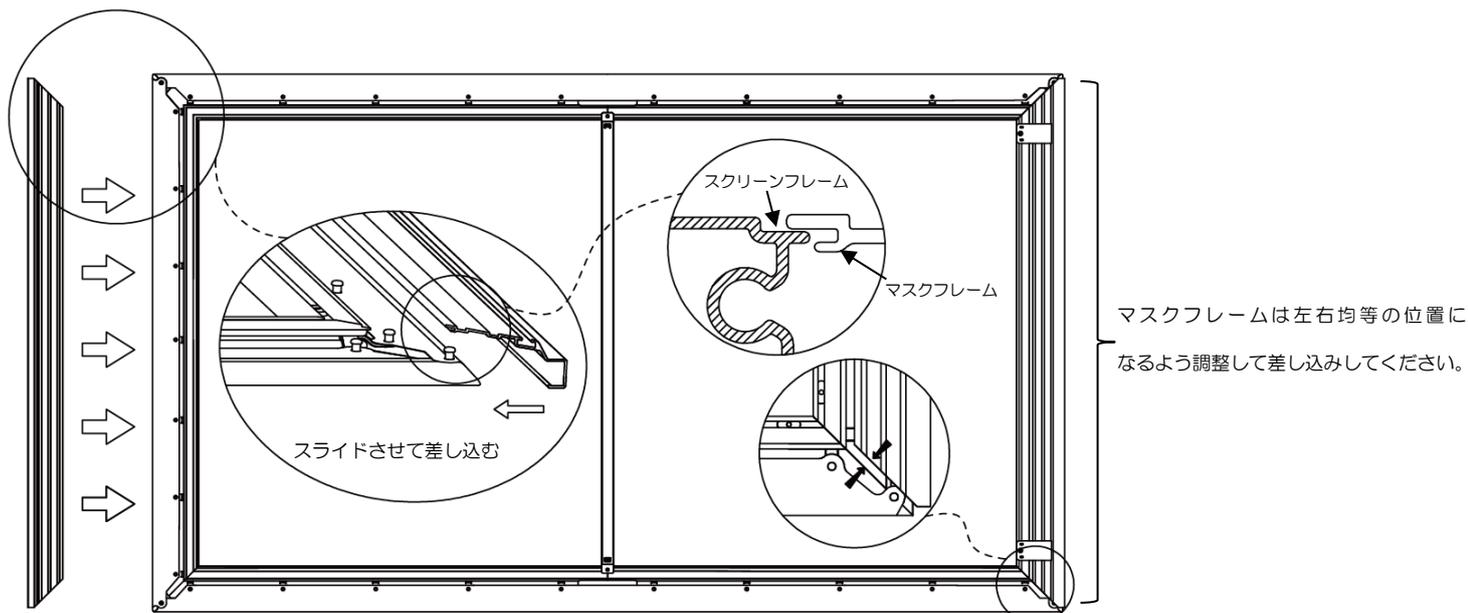
- ・マスクフレーム縦×2 ・マスクフレーム横×4 ・コーナーパーツ（プラスチック）×4 ・マスクフレーム固定用プレート×12



注意

- ・手袋を着用して作業してください。
- ・組み立ての際、フレームなどの部材で指をはさんで切らないよう、取り扱いにご注意ください。
- ・マスクフレームを差し込む際はゆっくりと作業し生地を傷めないよう、ご注意ください。

① マスクフレーム縦をゆっくりスライドさせ、スクリーンフレーム背面の溝にはまるように差し込みしてください。



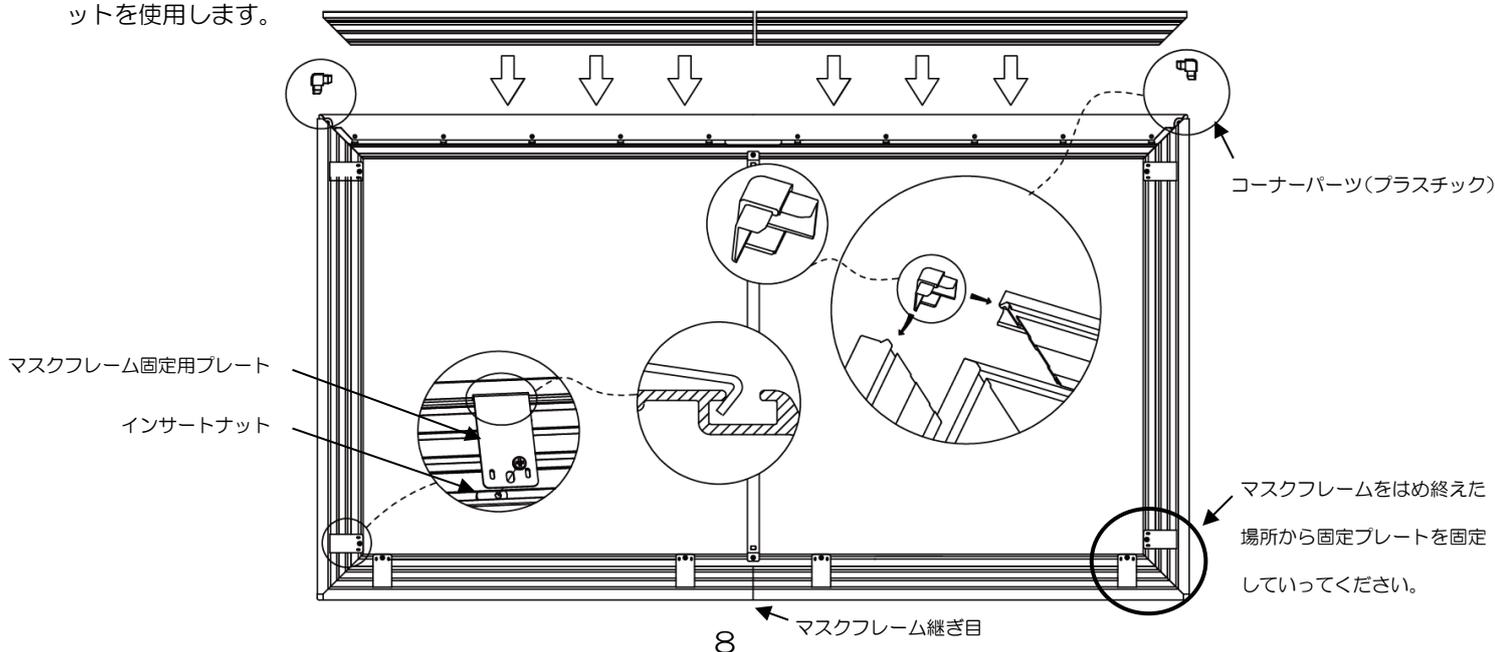
② マスクフレーム横をはめます。その際、縦横が重なるフレームの角（4か所）にコーナーパーツを差し込みます。

コーナーパーツ（プラスチック）は後入れ不可の為、忘れず差し込みしてください。

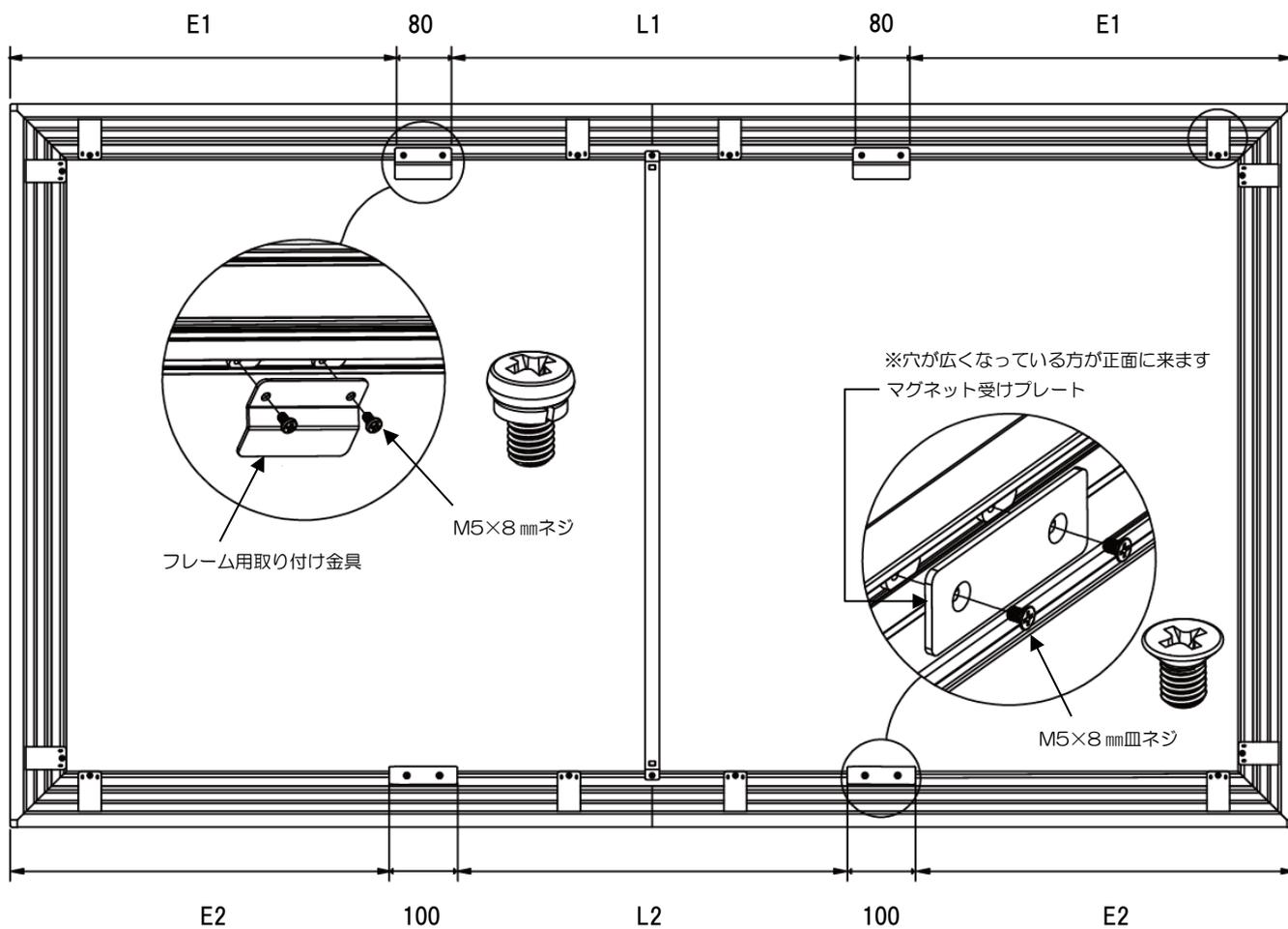
マスクフレーム横は1辺に対し2本使用します。フレームの継ぎ目が中央付近に入ります。

すべてのフレームの取り付けが完了しましたら、段差などが出来ていないか確認をしてください。

マスクフレーム固定用プレートをマスクフレームの溝に引っ掛け、スクリーンフレーム側のインサートナットにネジ（M5×8mm銀）で固定します。マスクフレーム1本につき端の2か所それぞれを固定しますので、端付近にあるインサートナットを使用します。



- ③ (設置用) フレーム用取り付け金具とマグネット受けプレートを取り付けします(※寸法はP.3 寸法表参照)
 スクリーンフレームのインサートナットに対し、それぞれネジで固定します。
 インサートナットは上下ともにマスクフレーム固定プレートのあいだにあるものを使用します。



設置方法

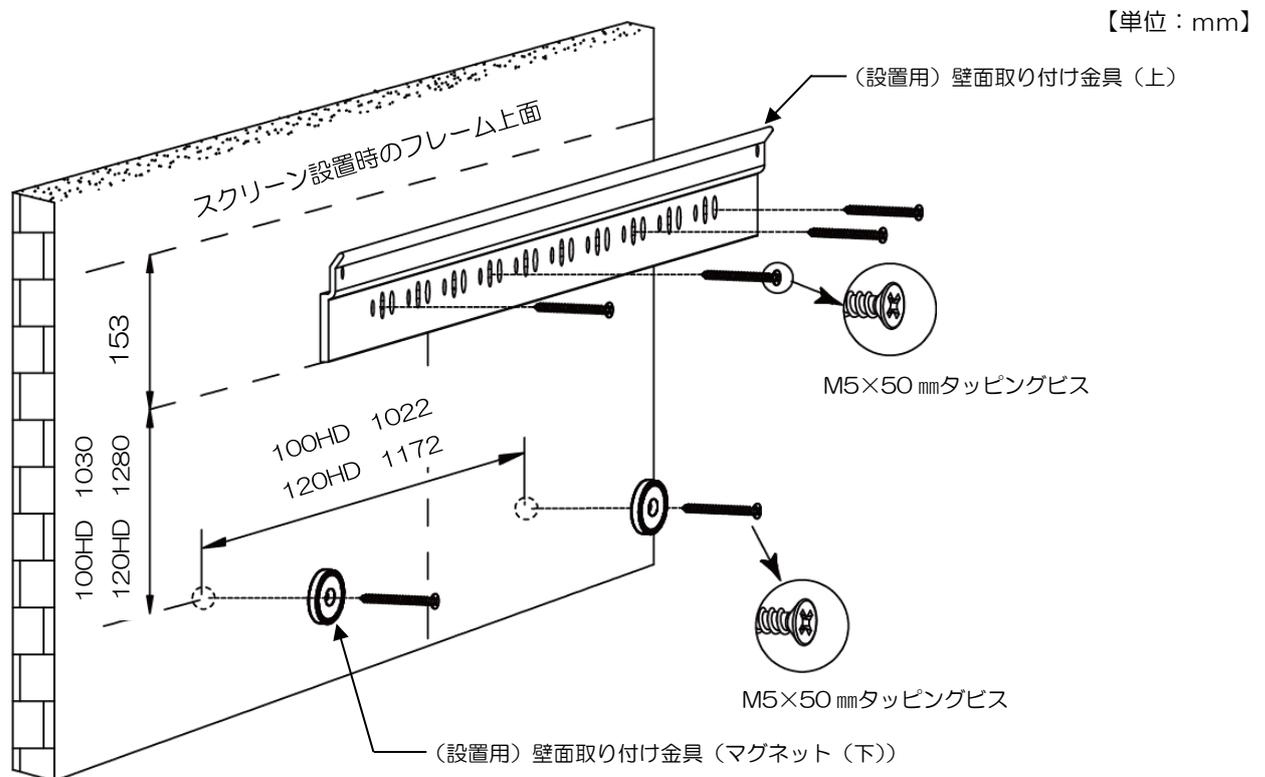
4. 取り付け金具の設置

<p>使用部材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(設置用)壁面取り付け金具(上) ×1 ・(設置用)壁面取り付け金具(マグネット(下)) ×2 ・M5×50mmタッピングビス ×8 <p>別途ご用意いただくもの：・電動ドライバーなど ・水平器 ・巻尺</p>	
<p>! 実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンを設置する際は、必ず2名以上でおこなってください。 ・壁面取り付け金具は付属のタッピングビスを4本以上使用して固定してください。
<p>! 注意</p>	<p>合板に設置する場合は、20mm以上の厚さが必要となります。</p>

■取り付け場所の確認

本製品は壁面に取り付けいたします。あらかじめ取り付けする場所に下地が入っているか下地材探知機器などで確認し壁取り付け金具を固定する位置を決めてください。

- ① 設置する壁面に(設置用)壁面取り付け金具(上)を固定します。付属のタッピングビスを電動ドライバー(またはプラスドライバー)で取り付けしてください。
- ② 設置する壁面に壁面取り付け金具(マグネット(下))の取り付け位置を決定し付属のタッピングビスで固定します。

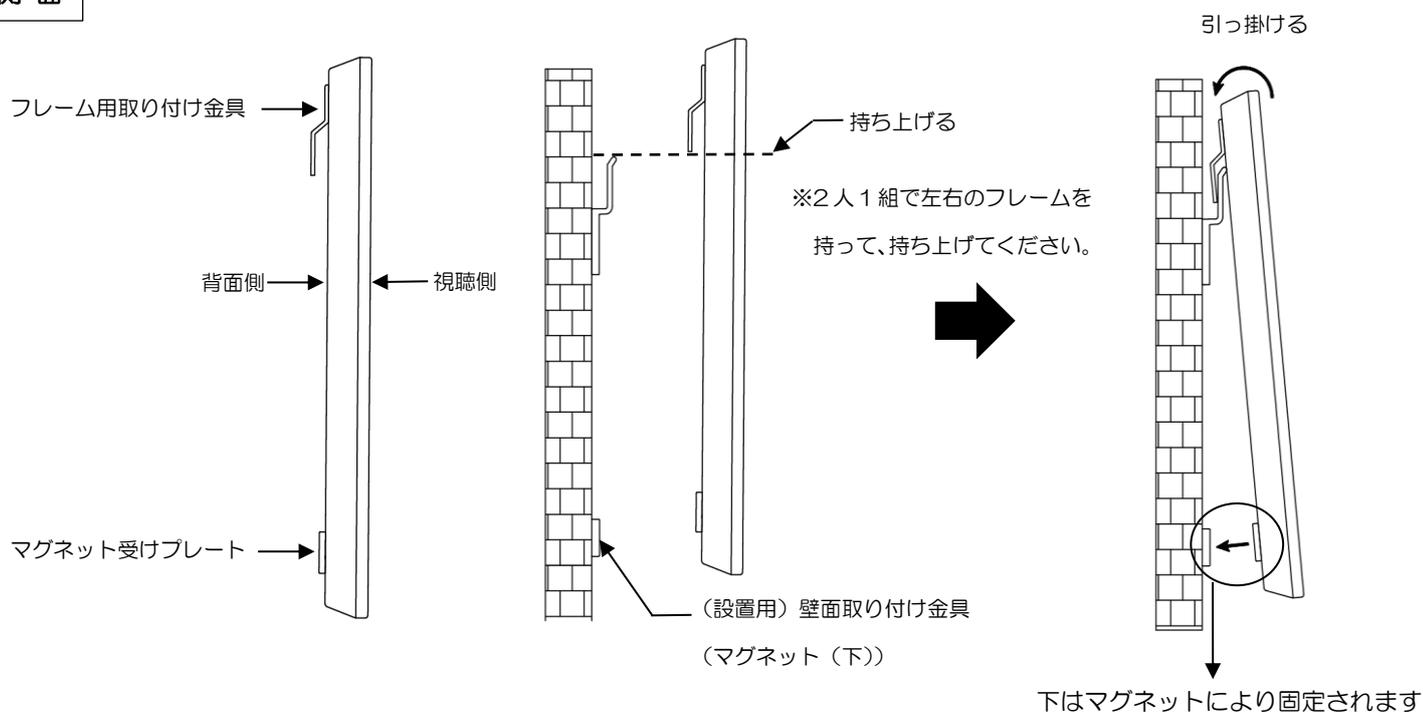


※穴が広がっている面が正面に来ます。

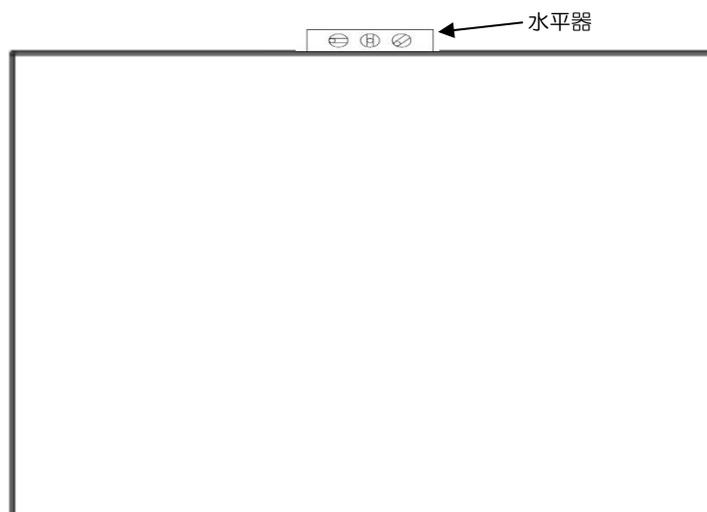
向きを反対に取り付けるとスクリーンが固定できません。

- ③ 固定した壁面取り付け金具（上）に、フレーム用取り付け金具を下図のように上からかぶせるようにして引っ掛けます。
生地を傷つけないようにフレームを持って持ち上げてください。
金具が引っかかりましたら下側がマグネットにより固定されるまでゆっくりと壁面にスクリーンを押し付けてください。

側面



- ④ 設置できたらスクリーンフレーム上側に水平器をあて、スクリーンが水平に設置されているか確認してください。
左右のスクリーンフレーム用金具が正しく設置され、スクリーンの水平が確認できれば設置は完了です。



製造販売元



株式会社キクチ科学研究所 <http://kikuchi-screen.co.jp/>

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-35 TEL 03-3952-5131 (代)

大阪営業所 〒556-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-5-2 四ツ橋新興産ビル 100B TEL 06-6567-9035 (代)

202410